



大原台

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL: 099 - 294 - 2311

FAX: 099 - 294 - 2309

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/

かごしま教育ホットライン24

0570-0-78310(全国統一ダイヤル)

0120-783-574(フリーダイヤル)

099-294-2200(直通)

平成23年度 調査研究発表会 御案内



全体研究主題

生きる力を豊かに育てる学校教育の創造

平成24年1月27日(金)開催

昨年度の調査研究発表会全体会の様子

9:00	受付	(20)
9:20	開会行事	(10)
9:30	調査研究の概要説明	(25)
9:55	プロジェクト研究の発表	(40)
10:35	準備	(15)
10:50	研究発表	(75)
	【情報教育研修課】	
	【特別支援教育研修課】	
12:05	教職員研修に関する調査結果報告	(10)
12:15	昼食・休憩	(60)
13:15	分科会	(190)
	・研究発表	
	・事例発表	
	・研究協議	
16:25	閉会行事	(5)
16:30		

プロジェクト研究の発表

授業力を高める校内研修の進め方
～みんなで取り組み、学び合う授業研究を通して～

情報教育研修課の研究発表

児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方に関する研究

特別支援教育研修課の研究発表

特別な教育的ニーズのある児童生徒に対するアセスメントに基づく学習指導の在り方に関する研究

教職員研修に関する調査結果報告

教職員のニーズを踏まえた効果的・効率的な研修の構築に関する研究

分科会

8つの分科会において「研究発表」及び「研究協力員による事例発表」, 「ワークショップ型研究協議」を行います。

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-------------|
| 第1分科会 | 国語科 | 第5分科会 | 外国語活動, 外国語科 |
| 第2分科会 | 社会・地歴・公民科 | 第6分科会 | 情報教育 |
| 第3分科会 | 算数・数学科 | 第7分科会 | 特別支援教育 |
| 第4分科会 | 理科 | 第8分科会 | 教育相談 |



「総合教育センターWebサイト」もしくは各学校に発送した「案内文書」を参照の上、学校ごとにお申し込みください。

【問合せ先】
総合教育センター
企画課
TEL: 099-294-2312
(直通)
FAX: 099-294-2374



(昨年度の様子)



プロジェクト研究 平成22・23年度

【研究のねらい】

教職員みんなで授業研究に取り組み、学び合う授業研究の在り方を明らかにする中で、それぞれが授業力を高めるとともに、校内のチームワークの向上を図る。

【研究の内容】

- ・ みんなで取り組み、学び合う授業研究の進め方についての研修手法等の具体化
- ・ 各校種の授業研究実践校における具体例の収集とその検討

情報教育研修課の研究 平成21～23年度

【研究のねらい】

コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できる力を育成するために、発達の段階に応じた情報モラルの指導の具体的方策を明らかにする。

【研究の内容】

- ・ 児童生徒の発達の段階に応じた総合単元的な情報モラルの指導や教科等における指導の具体化
- ・ 情報モラルの指導の全体計画や年間指導計画の作成例、校内研究の推進体制づくりに対する具体策の構築等

特別支援教育研修課の研究 平成22・23年度

【研究のねらい】

「通常の学級における子どもの学び方」を踏まえたアセスメントの方法と、アセスメントに基づく学習指導の在り方を明らかにする。

【研究の内容】

- ・ アセスメントを簡便かつ効果的に行うための「アセスメントシート」の改訂版の作成
- ・ 「アセスメントシート」等を活用したアセスメントに基づく学習指導の具体化等

教職研修課の研究（調査結果報告） 平成22・23年度

【研究のねらい】

教職員の資質の向上を図るために、新たな教育的ニーズや社会的ニーズを反映した効果的な悉皆研修の在り方を探る。

【研究の内容】

- ・ 全県的なアンケートの結果を分析・検討した上で教職員のニーズを踏まえた悉皆研修の構築
- ・ 集約システムを活用した研修評価票の分析や指導者の反省を基にした悉皆研修の改善等

総合教育センターでは、今日的な教育課題で、かつ広範囲の専門性を必要とする課題について、全所体制のプロジェクトチームを編成し、研究に取り組んでいます。

プロジェクト研究「授業力を高める校内研修の進め方」

学び合うよろこびを実感できる授業研究の進め方について



1 具体的研修手法の収集・整理

2 各種シートのモデル案の作成

3 授業実践校における実践

4 成果のまとめとその普及

成果のまとめを・・・

調査研究発表会で、2年間の研究成果のまとめを概要版にてお配りします。

例えば・・・

授業参観ミニカードや授業改善ミニカード等のモデル案を紹介します。

授業参観 ミニカード 記入者()					
日時	月 日()	教科等	学級	年 組	
単元・題材			授業者		
1	参観の視点			4	3 2 1
意見・助言等					
2	参観の視点			4	3 2 1
意見・助言等					
3	参観の視点			4	3 2 1
意見・助言等					
【一言感想等】					
【自由記述欄】					

「授業参観ミニカード」(例)

研究提携校の研究公開



鹿児島市立山下小学校

平成23年11月18日（金）

【研究主題】

自ら考え判断し、表現できる子どもを育てる学習指導の開発

本年度から新たな研究主題を掲げて、取り組んだ研究実践が公開されました。

「思考力」「判断力」「表現力」を身に付け、これらの力を発揮して問題を解決し、その解決の過程のよさを実感し、更に新たな問題に主体的に取り組んでいく子どもの姿を実現するための教育実践の在り方について提案がなされました。

また、午後は元文部科学大臣の遠山敦子氏による「『考える子ども』を育てるために～これからの日本の教育の行方～」の講演がありました。



3年生算数科「三角形」



遠山敦子氏の講演

10月下旬から11月にかけて、総合教育センター研究提携校4校で、研究公開が開催されました。各学校では、児童生徒の発達の段階や特性、自校の実態等を考慮して研究主題を設定し、教育実践及び教育上の諸課題の解決に役立つ研究開発を目指して実践・研究してきました。

奄美市立宇宿小学校

平成23年11月15日（火）

【研究主題】

学年別における複式社会科学習指導の充実

平成22年度から研究教科を社会科として、へき地・複式教育の特性を生かした学習指導の改善・充実を図る研究実践の経過を、本年度は「中間発表会」として位置付けて公開しました。

研究の視点を、「重点的な指導を行うための工夫」、「導入時や間接指導時に主体的な学習にするための工夫」、「複式社会科学習における『学び方』を育てるための指導の手立て」と設定し、公開当日は3・4年生の複式社会科の授業が公開されました。



3年生社会科「農家の仕事」



4年生社会科「土地のとく色を生かした伝とう工業」

鹿児島市立吉田南中学校

平成23年10月28日（金）

【研究主題】

「確かな学力」をはぐくむ学習指導
— ICT活用と言語活動を通じた授業改善—

平成22年度から取り組んできた研究の2年次にあたる本年度は、ICT活用と言語活動を関連付けながら学力の向上を目指す指導法の開発に取り組んだ授業実践と研究報告が行われました。

また、午後の6分科会では、ワークショップ型授業研究の中で、熱心な協議が行われるとともに、鹿児島大学教育学部附属総合教育実践センター長園屋高志教授による「デジタルとアナログを調和させた学習指導法の改善」という演題での講演がありました。



2年生美術科の公開授業「写真による表現～友だちを撮ろう～」



ワークショップ型授業研究の様子（数学科）

県立松陽高等学校

平成23年11月8日（火）

【研究主題】

よりよく生きる生徒の育成
— 知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力の育成のバランスを通して—

3か年の最終年度にあたる本年度は、知識・技能の定着と知識・知能を活用して思考力・判断力・表現力を育成する手立てを授業にバランスよく取り入れた研究実践が公開されました。

この研究により、生徒が教科の中だけでなく他教科への活用も実感できたことや、研究開発係と進路指導部が連携を図りながら指導方法を改善した成果、生徒の進路意識を追跡した調査結果の報告がなされました。



化学の授業（理科）



家庭総合の授業（家庭科）

■ 県立出水養護学校の公開研究会は、平成24年2月17日（金）に開催されます。

◆研修者を募集します

長期研修

教員としての資質を高め、本県教育の充実・発展に寄与する人材の育成を図るために、1年間の研修を行います。

◎ 研修期間

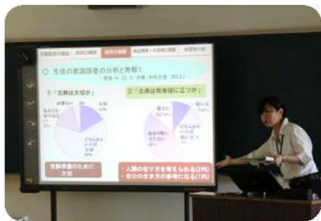
平成24年4月から平成25年3月までの1年間

◎ 募集対象

教職経験7年以上でステップアップ研修を修了した小・中・高等学校及び特別支援学校の教員

◎ 研修内容

各研修者が設定する教育実践上の課題に関する研究及び教育全般についての研修



平成23年度中間発表会の様子

継続研修（高等学校情報教育継続研修）

情報化に対応した情報教育を推進するため、年間を通して継続的に専門的研修を行います。

◎ 研修期間

平成24年5月から平成25年2月までの期間における金曜日（年間19回実施）

◎ 募集対象

- ① 農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉に関する学科、又はその他の専門に関する学科や総合学科を設置している高等学校において、情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員
- ② 普通科を設置している高等学校で、普通教科「情報」を担当する教員

◎ 募集コース

- ① 情報システム
- ② 情報コンテンツ

県総合教育センターの
あゆみ（S54～H3）

2

- S54. 6 あじさい150本を南側道路脇に植栽（鹿児島東高校寄贈）
- S58. 3 特殊教育センター棟完成（現・特別支援教育研修棟）
- S59. 4 研究提携校（山下小・吉田南中・松陽高）委嘱
- S61. 3 鹿児島県教育センターの名称を鹿児島県総合教育センターに改称
- S61. 4 情報処理教育センター棟完成（現・情報教育研修棟）
- S63. 11 開所20周年記念式典挙行

大原台第144号へ続きます。

◆平成23年度 長期研修者研究発表会 御案内

番号	教科等	発表者氏名	学校名	研究主題
1	地理歴史	船木 鉄平	県立垂水高等学校	世界史Bにおける「主題を設定して行う学習」の指導法の研究
2	理科	牛嶋 健	南さつま市立金峰中学校	科学的な思考力、表現力を高める理科学習指導
3	理科	吉元 輝明	垂水市立垂水小学校	子どもが多様な情報を整理・活用し、実感を伴った理解を深める理科授業の工夫
4	情報教育	牧 健一	鹿児島市立城南小学校	児童の発達段階に応じた情報活用能力をはぐむ教育の進め方
5	道徳教育	安樂 朋陽	伊佐市立大口東小学校	子どもの自尊感情を育てる道徳学習の在り方
6	道徳教育	藤谷祐一郎	薩摩川内市立川内小学校	思いやりの心をもち、共によりよく生きようとする子どもを育てる道徳の時間の在り方
7	特別支援教育(道徳)	染川 功次	県立武岡台養護学校	生徒一人一人の豊かな心をはぐむ、特別支援学校における道徳教育
8	保健体育	長井 忠友	阿久根市立大川中学校	運動好きな生徒を育てる学習指導の創造
9	外国語活動	宮元 秀樹	霧島市立青葉小学校	進んで人とかかわる楽しさを実感させるコミュニケーション活動の在り方
10	外国語(英語)	河原ミワ子	錦江町立錦江中学校	外国語活動の学びを生かした中学校英語第1学年における「話すこと」の活動の充実
11	国語	近藤 美希	県立指宿高等学校	「伝統的な言語文化」に親しませる古典の学習指導の在り方

期日

平成24年2月24日（金）

会場

県総合教育センター
大原台講堂



詳細は、別途御案内いたします。

思い

「先生に教えてあげようね」

次長兼研修部長 岩下 敏文

しばらく歯の痛みが続いていたが、どうしても我慢できなくなり、治療に行くことにした。受付を済ませ、待合室の長椅子に腰掛けると、目の前に小学校中学年くらいの男の子と、その母親らしき人が座っていた。男の子は目が赤くなっており、どうやら泣いた後のようである。「強かったねえ。先生に教えてあげようね。」母親のこの言葉が聞こえた時、男の子の顔が一瞬誇らしい表情になり、そして、小さくうなずいたのが分かった。

この親子にとって、担任であろうその先生はどんな存在なのだろう。きっと、心から信頼しているにちがいない。子どもや保護者から信頼される教師。それは信頼されたいと望んだから、なれるというものではない。その先生は、子どもと一緒に気持ちになっただけで泣いたり、笑ったりできる先生なのである。また、時には真剣に叱ってくれる先生なのでないだろうか。

そんなことを考え、同じ教師として、自分まで信頼されているようで、心が晴れやかになったのを覚えている。

「先生に教えてあげようね。」
それぞれ表現は違ってもいいが、この言葉が、多くの家庭で聞こえていることを願わずにはいられない。
この言葉に後押しをされ、私も勇気を奮って診察室に入ることができた。

